

平成22年度改訂版 確かな学力向上プラン

本校教育目標重点
進んで学習する子

確かな学力

基礎・基本 思考力 判断力 表現力 問題発見能力
問題解決能力 学び方 知識・技能 学ぶ意欲



教科指導の重点 * ― は今年度重点事項

国語科

言葉の力の育成はすべての教育活動を通じて行うという共通認識をもって、国語科指導の改善にあたる。特に、「読むこと」の充実のために、指導法を工夫していく。本年度、校内研究で文学的教材を取り上げ、指導法を工夫していく。
(研究主題：創造的な読み手を育てる ～感じる力・考える力・想像する力・表す力の育成を図る指導法の工夫～)

①読みを深めるために

- ア 考えを書くことで、自分の読みを確かめていく学習
- イ 友達と話し合うことで、自分の読みを深めていく学習

②読みを支えるために

- ア 叙述に即して読みをすすめる指導
- イ 語句指導 (国語辞典、漢字辞典の活用を含めて)
- ウ 感じる力の育成 (国語力の基盤となる読書指導など)

③読みを表すために

- ア 音読、朗読、暗唱指導
- イ 読み深めたことを書く指導

社会科

- ① グラフなど基礎的資料を基に、それが示す事実を見出し、事実から公正に判断したりしていく活動を多く設定する。
- ② 複数の資料を関連づけて調べたり考えたりする活動を取り入れ、社会事象の意味を多面的に捉えていけるようにする。
- ③ 学習した地名や事象については、一人一人のノートを確認するなど、その授業ごとに理解を確実なものにする。また、その後も機会があるごとに、振り返ったり教科書や地図で確かめたりして、理解を深めさせるようにする。
- ④ 国土の様子等を常に確認できるようにするために、教室に掛け図などを掲示したり、インターネットやパンフレットを活用したりする。

算数科

主に「図形」と「数量関係」の領域の指導の充実を図る。

- ①「数と計算」の学習指導：四則計算の意味や計算の仕方を考えさせたり、計算処理を繰り返させたりする。
- ②「数量関係」「量と測定」の学習指導：具体的な事例を通して分類整理させたり、図などを提示して考えさせたりする。
- ③各領域共通の手立て：
 - ア 既習事項を用いて考える活動を多く設定する。また、活動を振り返る場面を設定し、理解を確実なものにする。さらに、用いた考え方のよさ(有用性・簡潔性・一般性・正確性など)を意識付けるようにする。
 - イ 少人数指導と連動させて、発展的な問題に取り組む活動や、見通しをもてない児童への具体的手立てなど、個に応じた指導の充実を図る。

理科

- ① 児童一人一人が十分に観察・実験できる場面を多く設定するとともに、児童が観察・実験しやすい器具等を整える。また、必要に応じて、資料映像等を活用するなど、視覚的にとらえられるようにする。
- ② 観察・実験の結果をまとめたり、結果からどんな結論が導き出されるかを自ら考えたり、学級全体や小グループで協議したりする活動を意図的・計画的に設定する。その際、実験の意図を理解させるように留意する。
- ③ 学習事項を日常的に意識できるように教室に方位を示す掲示をしたり、資料を用意したりする。

＝関連を図る取組＝

校内研究：国語

創造的な読み手を育てる
—感じる力・考える力・想像する力・表す力の
育成を図る指導法の工夫—

総合的な学習の時間

- ① 自ら調べ、まとめる活動などを通じ、思考力・判断力や学び方を身に付けさせる。
- ② 各教科(科目)、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにする。

＝教科指導を支える取組＝

- 2～6年生の学力検査の実施と活用
- 家庭学習キャンペーン：年間3回
- サタデープロジェクト(7回)・土曜授業(2回)
- 読書活動の充実(年間1000分)：朝読書・保護者による読み聞かせ
- 図書紹介冊子「本の世界」の作成・配付
- 読書目標の設定・達成児童の表彰

平成22年度改訂版 確かな学力向上プラン年間計画

	1学期	2学期	3学期
授業における指導改善 (各教科共通)	■指導の重点を単元別に確認(学年会)	■単元ごとに指導の重点の実践と検討(学年会)	■単元ごとに指導の重点の実践と検討(学年会) ■実践をもとに来年度の指導の改善(学年会及び全体会)
	■授業の中で、小テストや机間指導等を実施して、児童の学習状況を即時評価する。また評価結果に応じて、説明を補ったり補充問題を提示したりして、1時間ごとの授業における基礎基本の定着を確実なものにする。		
校内研究	創造的な読み手を育てる －感じる力・考える力・想像する力・表す力の育成を図る指導法の工夫－		
	■5年 授業研究 ■4年 授業研究 ■2年 授業研究	■5年 授業研究 ■3年 授業研究 ■専科 授業研究	■1年 授業研究 ■研究まとめ
総合的な学習の時間の指導改善(問題解決能力育成)	■各教科(科目)、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらを総合的に働くようにする。		
	■課題や目的に応じていろいろな方法で調べたりまとめたりする。	■課題や目的に応じて必要な事柄を調べたり、追究したりする。	■課題や目的に応じて、事柄を比べながら調べたり、見通しをもって追究したりする。
教科指導を支える取組	■朝読書・親水公園読書 ■読書目標達成児童表彰 ■家庭学習キャンペーン ■サタデープロジェクト ■読み聞かせ(保護者) ■「言葉の広場」集会活動	■朝読書 ■読書目標達成児童表彰 ■家庭学習キャンペーン ■サタデープロジェクト ■読み聞かせ(保護者) ■図書紹介冊子の配付 ■「言葉の広場」集会活動	■朝読書 ■読書目標達成児童表彰 ■家庭学習キャンペーン ■土曜授業 ■読み聞かせ(保護者) ■「言葉の広場」集会活動

数値目標

- 「指導の改善ができた」と自己評価する教員を100%にする。
- 「楽しみにしている授業がある」と自己評価する児童の割合を80%以上にする。
- 「読書が楽しい」と自己評価する児童の割合を80%以上にする。